

## 「子どもの医療費無料化制度の拡充」を求める要望意見書

今、少子化の進行や子どもの貧困が北海道の喫緊の課題になっています。平成29年に北海道等が実施した「子どもの生活実態調査」では、全国平均を上回る5人に1人が貧困状態にあり、経済的理由で受診を断念せざるを得なかった世帯が17.8%、非課税世帯では32.6%と高いことが分かりました。全ての子どもたちの健康を守るため、お金の心配をせずに必要なときに医療機関を受診できるように、北海道の子どもの医療費無料化制度の拡充が求められています。

しかし、北海道の子ども医療費助成の通院無料化は3歳未満、その上、所得制限や一部負担金があり、他県から比べても大きくおくれており、道内の市町村では中学生や高校生までにと医療費無料化の取り組みが広がっていますが、地域によって格差があり、北海道の制度拡充による底上げが求められています。

子どもの医療費無料化制度の拡充は、幅広い道民の願いになっており、子どもたちをめぐる厳しい実態からも、一日も早い改善が求められています。

よって、北海道においては、お金の心配をせずに必要なときに医療機関を受診できるように、北海道の子どもの医療費無料化制度を拡充するよう強く要望いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和2年3月19日

北海道余市郡余市町議会議長 中 井 寿 夫

【提出先】北海道知事